

登米の力 とめのちから 登米の地から

有限会社伊豆沼農産

～富県宮城グランプリ「みやぎの食」振興部門賞を受賞！～

地方振興部

第6回富県宮城グランプリの表彰式が1月29日に開催され、登米市の有限会社伊豆沼農産が「みやぎの食」振興部門賞を受賞しました。

この取組は、富県宮城の実現に向けて、宮城県産業の発展、地域経済の活性化に対する貢献が顕著である企業、団体及び個人を称えることにより、富県共創への関心を高め、県民及び県内企業の主体的な取組を促進することを目的としています。

伊豆沼農産は創業時から農畜産物の6次産業化に取り組むパイオニアであり、農畜産物の生産・加工、レストラン・農産物直売所の経営などを行っています。また、「伊豆沼ハム」などの知名度の高いブランドを育て上げ、生産者による海外輸出に先鞭をつけたほか、伊豆沼のハスを原料とする化粧水など地域資源を活用した商品開発や、

食農体験・都市農村交流施設の活用により都市部からの誘客を進めています。

このような取組を通し、県内の6次産業化における1つのモデルを提供しているほか、地域産業振興に大きく貢献しているということから、この賞の受賞が決まりました。



表彰式の様子

日本一はっとフェスティバル実行委員会

～観光王国みやぎおもてなし大賞奨励賞を受賞！～

地方振興部

平成29年第4回観光王国みやぎおもてなし大賞の表彰式が2月6日に開催され、登米市の日本一はっとフェスティバル実行委員会が「観光王国みやぎおもてなし大賞奨励賞」を受賞しました。

この取組は、宮城県を訪れた観光客の皆さまに「宮城県に来てよかった、また来たい」と思っただけのような「おもてなし」の取組を表彰することで、観光事業者の意識啓発・意欲向上を図

るとともに、宮城県全体の「おもてなし」の充実につけていくことを目的として実施しているものです。

日本一はっとフェスティバル開催の取組は「観光王国みやぎおもてなし大賞」には届きませんでした。観光による地域活性化のモデルとなる取組として認められました。これからも登米市の観光の目玉として、活躍が期待されます。



日本一はっとフェスティバル実行委員会と村井知事、むすび丸



表彰式の様子

中田町 及川さよ子さん

～宮城県農業・農村活性化女性グループ等表彰で最優秀賞を受賞！～

農業振興部

登米市中田町の及川さよ子さんが平成29年度宮城県農業・農村活性化女性グループ等表彰の地域社会参画部門で最優秀賞を2月1日に受賞されました。これは、農村女性の活動を応援する宮城県独自の表彰事業です。

及川さんは家族の理解のもと、農業以外にも活

動の幅を広げ、地域活動や学校でのボランティア活動、登米市農業委員や人権擁護委員、農業研修生の受け入れも行ってきました。現在は、女性農業者の勉強組織「アグリレディーズネットとめ」の代表を務め、家庭内、地域におけるパートナーシップの取組を牽引しています。



前登米地域事務所長（右）を表敬訪問した及川さよ子さん（左）



きゅうり栽培について説明する及川さん（右）

豊里有機肥料センターの補修工事が終了しました！

東部家畜保健衛生所

登米市内には7箇所の家畜排せつ物処理施設（有機センター）が設置されており、施設内で発酵処理された家畜ふん尿は、良質な完熟堆肥としてほ場に還元されています。

当該施設のうち豊里有機肥料センターは、平成13年4月から15年以上稼働し老朽化が進んできたことから、国庫補助事業【資源リサイクル畜産環境整備事業（ストックマネジメント事業）】を活用し平成27年度から補修・補強に取り組んできました。（事業実施主体：（公社）みやぎ農業振興公社）

具体的には専門業者が施設の長寿命化を図るための機能診断により補修・補強が必要な箇所を特定後、測量設計、一部補修、堆肥の攪拌機交換などを実施し、2月28日に工事が完了しました。

新たな攪拌機が順調に稼働し、これまで以上に耕畜連携の拠点施設としての役割を果たしていくことが期待されています。



新しく導入した攪拌機

十五貫排水機場が完成！

農業農村整備部

登米市豊里町の十五貫排水機場が完成し、3月から稼働可能となりました。

以前の十五貫排水機場は、昭和39年に設置されてから50年以上経過しているため、排水施設の老朽化によるポンプ機能の低下が著しく、加えて地域排水機能も有していることから、大雨等の

災害時には農地の浸水のみならず地域住民の生活や地区の農業経営に大きな影響を与えてきました。そのため、施設の改修を行い、農地・農業用施設や公共施設への大雨等の災害による被害を未然に防止することを目的とし、地域の安全を確保する役割を担っています。



十五貫排水機場の外観



排水ポンプ

F S C 認証材の取組について

林業振興部

林業振興部では、登米市の木工品PRの取組を支援しています。F S C（森林管理協議会）森林認証材の伝統工芸品との連携についての指導、試作や県内外での展示PRの支援等を行っています。

F S Cの森林認証制度は、森林が適切に管理さ

れているか、環境や地域社会に貢献しているかを評価し認証されます。そして、その森林で生産された木材や木材製品は独自のロゴマークが付いており、環境配慮型の商品として流通しています。

今後は、森林認証制度の一般消費者への認知向上を図りながら、需要開拓を目指します。



スマートフォンスピーカー



弁当箱

登米市に肥満黄信号！？

東部保健福祉事務所登米地域事務所

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合が、全国ワースト3位と低迷している宮城県。県ではメタボ脱却のため「第2次みやぎ21健康プラン」において、「歩こう！あと15分」「減塩！あと3g」、「めざせ！受動喫煙ゼロ」を重点項目として取り組んでいます。

登米地域では、平成28年県民健康・栄養調査結果から、肥満者の割合が男性で約4割、女性で約3割と県内で最も高い現状です。（図1、図2）

子どもの肥満も県及び全国平均より多いため、幼児期からの予防が重要です。

県民の健康課題

- 肥満が多い**
【男性】 H28:全国ワースト4位 (H24:ワースト7位)
【子供】 H28:全国ワースト2位 (小学6年男子)
- 歩かない人が多い**
【男性】 H28:全国ワースト7位 (H24:ワースト1位)
- 塩分過剰**
【男性】 H28:全国ワースト1位
【女性】 H28:全国ワースト13位
- 喫煙者が多い**
H28:全国ワースト9位
- メタボが多い**
(該当者及び予備群の割合)
H26-27:全国ワースト3位 (H20-25:ワースト2位)
- 脳血管疾患が多い**
(年齢調整死亡率が全国平均より高い)
H28:全国ワースト25位

「平成24、28年国民健康・栄養調査結果」(厚労省)
「平成28年国民生活基礎調査」(厚労省)
「H24、28年学校保健統計調査」(文科省)
「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」(厚労省)
「H28人口動態統計」(厚労省)

写真提供:河北新報社・仙台放送 (みやぎカイゼンプロジェクト)

<肥満・普通・やせの者の割合（性・保健所管内別）> ※補正值

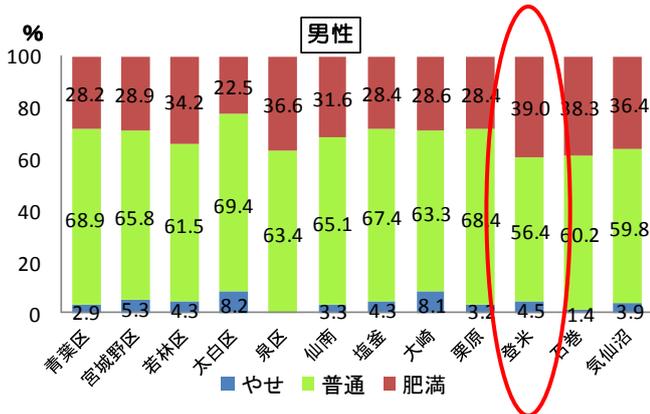


図1

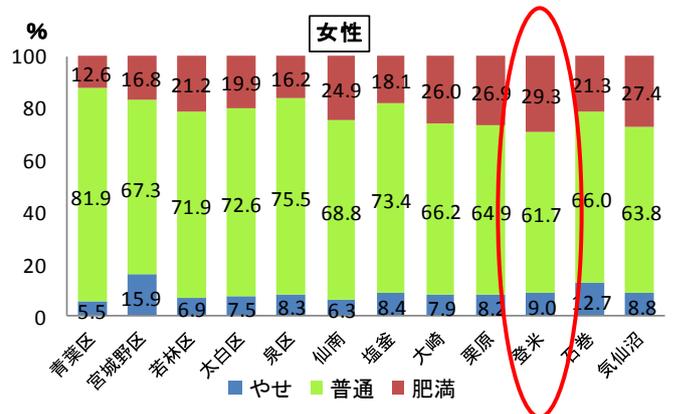


図2

出典：平成28年宮城県県民健康・栄養調査 結果報告書

肥満は、生活習慣病やメタボリックシンドロームの要因となります。食生活の乱れや日頃の運動不足は、肥満や高血圧・高血糖・脂質異常などに繋がり、放置するとメタボリックシンドロームから心疾患や脳血管疾患が起こるリスクが高くなります。

登米地域では子どもの頃からの肥満やメタボの予防を目指して、「歩こう！あと10分」そして、新鮮で美味しい地場産食材のおいしさを活かした「適塩！プラスあと野菜1皿！」を目標にしています。地域や家族みんなで、健康長寿の登米地域を作りましょう！

みんなで取組もう！肥満予防！

歩こう！あと10分！

適塩！プラスあと野菜1皿！

登米保健所管内健康づくり推進事業
企画・評価会議ワーキンググループ

毎日野菜を +1 プラス1皿

宮城県では『スマートみやぎ健民会議』の会員企業・事業者を募集中！
健康づくりの取組みを行っている企業・事業者皆様ぜひご登録ください。
⇒ <https://www.pref.miyagi.jp/site/sumart01/>

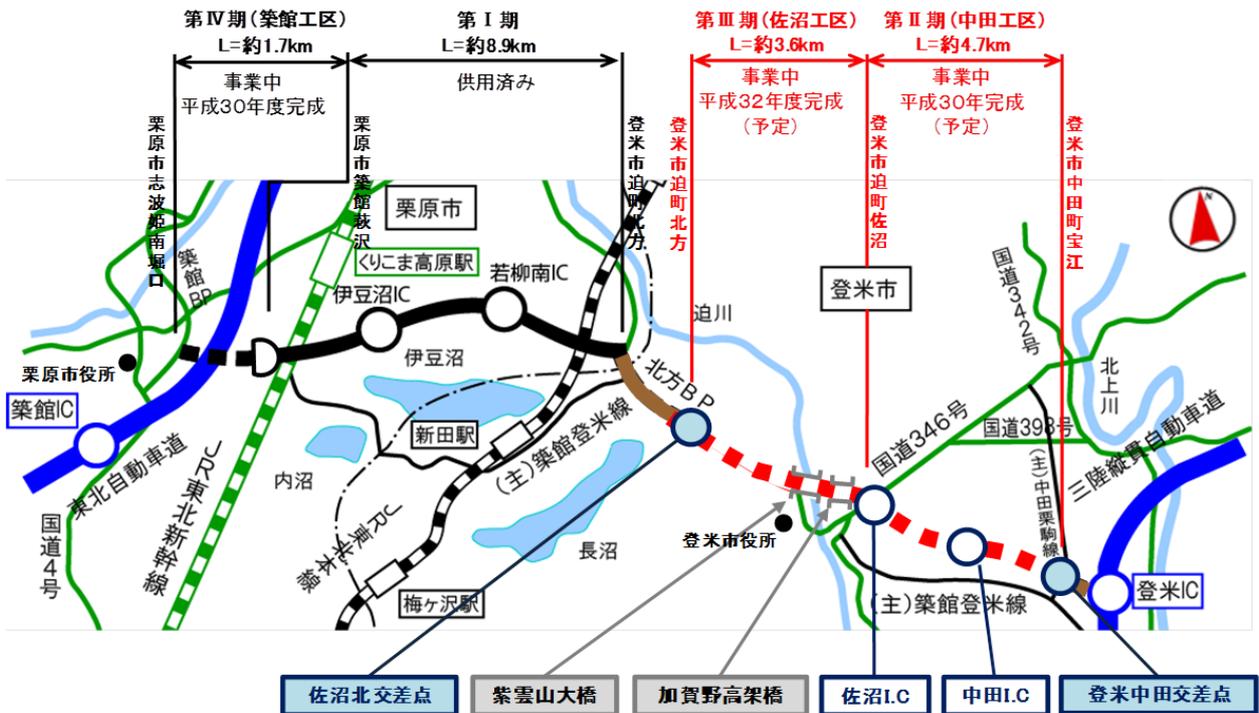
みやぎ県北高速幹線道路～Ⅱ期（中田工区）～

東部土木事務所登米地域事務所

みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道を結び、栗原圏域と登米圏域の交流や連携を強化する地域高規格道路であり、被災地の復興支援や災害時における救援物資輸送等を担う復興支援道路です。

みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）とⅢ

期（佐沼工区）に新設するインターチェンジ及び橋梁等の名称は、登米市が実施した一般公募の結果を踏まえ、下記のとおり決定しました。Ⅱ期（中田工区）については、平成30年内の供用を目指して工事を進めています。



佐沼インターチェンジ完成予想図



中田インターチェンジ完成予想図



登米中田交差点完成予想図

インターチェンジ及び交差点名	施工地名・箇所
佐沼北交差点	登米市迫町佐沼地内の国道398号(北方B P)との交差点部
佐沼インターチェンジ	登米市迫町佐沼地内の国道346号との接続部
中田インターチェンジ	登米市中田町地内の広域農道そよげラインとの接続部
登米中田交差点	登米市中田町地内の県道中田栗駒線との交差点部

橋梁名	施工地名	橋長
シウンザン 紫雲山大橋	登米市迫町北方字紫雲山から 登米市中田町石森字新蟹甲まで	741m
カガノ 加賀野高架橋	登米市中田町石森字新境堀から 登米市中田町石森字表まで	450m

登米市西部学校給食センター

～「伊達な献立」コンクールで宮城県PTA連合会長賞を受賞！～

東部教育事務所登米地域事務所

平成29年12月26日（火）に第5回宮城県学校給食「伊達な献立」コンクール第二次審査会が開催され、登米市西部学校給食センターが昨年度の「宮城県知事賞」に引き続き、「宮城県PTA連合会長賞」を受賞しました。昨年度の宮城県知事賞の受賞については、これまで単独校が受賞しており、給食センターが受賞したのは登米市西部学校給食センターが初めてです。

このコンクールは、県産品を生かした食育の充実に向けて、学校給食における献立の向上と多様化を推進することを目的としており、給食を提供している県内の公立学校や給食センターが参加しました。第一次審査会は書類審査が行われ、第二

次審査会で調理実技審査が行われます。

今回受賞した献立は平成29年9月28日（木）に提供されたもので、登米市で多く生産されている大豆を和風カレー味のそばろに入れ、赤青パプリカで見た目にも楽しく食べられるように工夫したり、副菜のサラダは地域の健康課題である肥満を意識し、低カロリーの糸こんにゃくと市内産の小松菜や三陸産の茎わかめを入れた噛みごたえのあるメニューとなっています。

登米市の給食は宮城県内で、県内産原材料使用率3位、市内産原材料使用率1位と地元産をふんだんに使ったメニューとなっており、食材にこだわった献立を心がけています。



平成29年度「宮城県PTA連合会長賞」

献立：麦ごはん、牛乳、ソイカレーそばろ、ヘルシーサラダ、登米市産にらの塩玉スープ、蔵王産の梨



平成28年度「知事賞」

献立：鶏ごぼうご飯、牛乳、笹かまのカラフル味噌マヨネーズ焼き、三陸産わかめのごま和え、まいたけのすまし汁、登米市産りんご



授賞式の様子



第二次審査会で調理実技をしている様子

※平成30年4月より、東部教育事務所登米地域事務所は東部教育事務所（石巻）に統合されました。

平成30年4月1日発行/宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所（地方振興部）
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5
TEL:0220-22-6123 FAX:0220-22-7522